

びわこ大津草津景観推進協議会 令和3年度の取り組み

調整会議・協議会（書面）の開催

令和3年度は、3回の調整会議と2回の協議会（書面）を開催しました。

- 調整会議：令和3年 5月12日
令和3年12月21日
令和4年 3月31日 計3回
- 協議会：(第12回) 令和3年5月19日
(第13回) 令和4年3月31日 計2回

PR事業① 東海道統一案内看板に関する資料の送付

新たな看板設置の推進を図り、大津市と草津市だけではなく、東海道全体で統一感ある景観まちづくりを推進していくため、東海道にゆかりのある33自治体に対して、東海道統一案内看板設置に関する資料を送付し、大津市・草津市連携の取り組みを周知しました。



PR事業② 東海道統一案内看板の製作

看板設置の推進を図るため、大津市・草津市で新たに東海道統一案内看板を製作しました。大津市は、イベント等に出向き周知啓発するために見本用の看板を製作しました。また、草津市はメッシュターポリン製の看板を製作し、観光案内所である「くさつ夢本陣」に看板を設置しました。



令和4年3月13日 景観づくりチャレンジ隊の開催

大津市民・草津市民22名に参加いただき、両市連携の市民啓発事業を開催しました。事業の中で、参加者は高速船「megumi」に乗船し、湖上から両市の景観を見て学ぶほか、建築士会の協力のもと、近江八景「矢橋帰帆」を題材とした砂絵の作成や東海道統一案内看板の色塗り体験をしていただきました。



【裏面に続く】

令和4年3月23日 都市景観大賞 現地審査の実施

びわこ大津草津景観推進協議会と公益社団法人滋賀県建築士会大津地区委員会・同湖南地区委員会が連名で、令和4年度都市景観大賞「景観まちづくり活動・教育部門」に応募しました。そして、書類による一次審査を通過し、二次審査として現地視察が実施されました。



審査委員に、大津市と草津市の東海道統一案内看板の設置状況や眺望ポイントからの対岸景観を説明し、公益社団法人滋賀県建築士会が用意した船に乗り、湖上からの両市の対岸景観をご覧いただきました。



両市の取り組みについて評価していただき、審査の結果、優秀賞を受賞しました。

東海道統一案内看板の設置

東海道の沿道景観の統一性・連続性を目指して、東海道の歴史や町の魅力を発信するために、統一のデザイン看板を設置しています。令和3年度は膳所商店街振興組合(有志)や膳所小学校、膳所高校の書道部などにご協力いただき、新たに20基の看板が設置されました。

